



こんにちは日本共産党です ハ千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第372号

2018年7月9日

発行

日本共産党

ハ千代市議会議員団

ハ千代市大和田新田

312-5

誰もが安心して働くことができる権利の保障を

日本共産党市議団のもとには、日々の暮らしの相談で「働く人の権利」についても問い合わせがあります。最近では「明らかに仕事中のケガなのに、労災として処理してくれない」「有休を申し出てもダメと言われた」など具体的な相談が寄せられています。

市民アンケートでも、「8時間働いて、週5日間働いてもまともな暮らしができない」「保険料、税金を払うと生きていくだけのお金しか残らない」などの切実な声がありました。

安心して働き、まともな暮らしをする権利はすべての人にあるはずですが、非正規雇用の拡大は、こうした方々をより一層深刻な状況へと追い込んでしまいます。

6月議会で、非正規雇用で働く特別支援学級の介助員の待遇改善など質問しましたが、市は「検討する」どまりの答弁です。格差と貧困の拡大が社会問題となっている現在、市が率先して非正規雇用の待遇改善をすることが必要です。

過労死を促進させる残業代ゼロ法の廃止を

また、国会で強行採決された「働き方改革」も問題です。一つは、月100時間まで残業時間を認めるなど、長時間労働にお墨付きを与える内容となっています。残業80時間は過労死ラインと言われているのに、あってはならないことです。

二つ目は、高度プロフェッショナル制度（残業代ゼロ制度）の導入は、会社が残業代を払わない働かせ方を拡大する内容となっています。労働時間の規制が適用されない労働者をたくさん作り出すこととなります。

だからこそ、すべての労働団体と全国過労死を考える家族の会や弁護士団体をはじめ広範な市民団体が、「長時間労働と過労死を促進する」「過労死防止法の流れに逆行している、容認できない」など強く反対しているのです。



市議会は、働く者の命と健康、安全を守る先頭に

5月1日のハ千代市メーデーでも、「8時間働き、8時間の休息、8時間余暇を楽しもう」「働く人の権利を守ろう」とのスローガンが掲げられていました。

今国会での強行採決に対し、7月5日の岩手県議会では「働き方改革一括法の廃止を求める意見書」が賛成多数で可決されました。

国の悪法のもとで、市民の暮らしが脅かされる。その市民の声を一番身近に聞くことのできる議員と市議会が、しっかりと国に声を届ける役割を果たさなければなりません。市の非正規雇用の縮小とともに、6月議会には間に合いませんでしたが、「働き方改革」を国が廃止するまで、ハ千代市議会から意見書を提出していきます。